株式会社コーエーテクモウェーブ

貸借対照表

令和4年3月31日現在

（単位:百万円）

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	**1,633**	**流動負債**	**364**
現金及び預金	211	買掛金	63
売掛金	153	未払金	62
貯蔵品	74	未払消費税等	53
製品	3	未払費用	67
関係会社短期貸	1,024	預り金	64
預け金	138	賞与引当金	50
未収還付法人税	10	役員賞与引当金	2
その他	17	その他	1
固定資産	**563**	**負債合計**	**364**
有形固定資産	**140**	**純資産の部**	
建物	46	**株主資本**	**1,833**
アミューズメント施設機器	81	**資本金**	**100**
工具器具備品	12	**資本剰余金**	**1,248**
		資本準備金	700
無形固定資産	**2**	その他資本剰余金	548
ソフトウェア	0	**利益剰余金**	**485**
電話加入権	2	利益準備金	1
		その他利益剰余金	484
投資その他の資産	**419**	繰越利益剰余金	484
投資有価証券	9	**評価・換算差額等**	**△1**
敷金保証金	300	その他有価証券評価差額金	△1
繰延税金資産	29		
前払年金費用	73		
その他	7	**純資産合計**	**1,832**
資産合計	**2,196**	**負債・純資産合計**	**2,196**

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個　別　注　記　表

1．重要な会計方針に係る事項に関する注記

（1）　有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

（市場価格のない株式等以外のもの）時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は主として移動平均法により算定）

（市場価格のない株式等）　：主として移動平均法による原価法又は償却原価法（定額法）

（2）　たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価の切下げの方法）によっております。

①　商品　移動平均法

②　仕掛品　個別法

③　貯蔵品　最終仕入原価法

（3）　固定資産の減価償却の方法

①　有形固定資産

平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については旧定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については旧定額法

平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については定率法

ただし、建物及び一部の固定資産については定額法

②　無形固定資産

定額法

なお、ソフトウェアについては、社内における見込利用期間（5年）に基づく定額法

③　長期前払費用

均等償却

（4）　引当金の計上基準

①　貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②　賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、次期支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

③　役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

④　退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

（5）　消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

当期純利益金額

168百万円